

フレッシュ名曲コンサート

Shimpei
Sasaki

東京交響楽団

ラフマニノフと
ブラームスを聴く

Yuki
Osaki

©_S.Arita

【予定曲目】

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 ハ短調

ブラームス: 交響曲第1番 ハ短調

※曲目は変更になる場合がございますのでご了承ください。

2025年

10月5日(日)

開場 14:30 開演 15:00

【出演】 佐々木新平 (指揮)
大崎由貴 (ピアノ)
東京交響楽団 (管弦楽)

【全席指定】 一般 4,000 円
キララ友の会 3,800 円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催: S&D 秋川キララホール、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
企画協力: 東京オーケストラ事業協同組合

Tokyo Symphony Orchestra

©N.Ikegami TSO

チケット好評発売中!

主催
ご予約
お問合せ

S&D秋川キララホール

〒197-0804 東京都あきる野市秋川1-16-1
<https://akigawa-kirarahall.jp>

☎042-559-7500

受付時間 9:00~18:00
毎週月曜日休館(祝休日の場合は翌日休館)



圏央道 日の出IC
あきる野ICより約2km
■無料駐車場あり



JR五日市線
秋川駅下車 北口
徒歩5分



東京音楽コンクールピアノ部門最高位、
アルコバッサ国際室内楽コンクール最高位など、
研鑽を重ねてきた若手ピアニスト大崎由貴が、
この度キララホールの空間にラフマニノフを描きます。
また、オーケストラを中心にあらゆるシーンで才能を発揮する
マエストロ佐々木新平と、老舗オーケストラ東京交響楽団による
充実した演奏をお楽しみください。

指揮
佐々木新平
Shimpei Sasaki



©Herbie Yamaguchi

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パヌラら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりドイツ・ミュンヘンへ留学しさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に出選。これまで東京交響楽団をはじめ国内主要楽団に客演。2015-19年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。2021-24年ヤマハ吹奏楽団常任指揮者を経て現在名誉指揮者。2024年11月東京吹奏楽団正指揮者に就任。現在オーケストラを中心にあらゆるシーンで才能を発揮。そのほか多彩なイベントやレコーディングの指揮、ワークショップの開催、テレビ、ラジオ、映画への出演に至るまで多方面に活動の幅を広げている。

ピアノ
大崎由貴
Yuki Osaki



©JUNICHIRO MATSUO

広島市出身。第18回東京音楽コンクールピアノ部門第2位(最高位)。第5回アルコバッサ国際室内楽コンクール(ポルトガル)最高位、併せてポルトガル作品賞受賞。ソリストとして東響、東フィル、新日本フィル、群響、大阪響、広響などのオーケストラと共演を重ねる。定期的にソロリサイタルを行う他、アンサンブルでも精力的に活動し、バロックから現代に渡るまで幅広いレパートリーを開拓している。広島大学附属高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部をアカンサス音楽賞、藝大クラヴィーア賞、同声会賞を受賞し卒業後、渡欧。ジャック・ルヴィエ氏に師事し、ザルツブルク・モーツァルテウム大学修士課程を首席で卒業後、同大学ポストグラデュエート課程を修了。令和2年度文化庁新進芸術家海外研修員。現在、愛知県立芸術大学ピアノコース、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校にて非常勤講師を務める。
website : <https://www.yukiosakipianist.com>

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra



©T.Tairadate

1946年東宝交響楽団として創立。文部大臣賞をはじめとした日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。川崎市、新潟市と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開する他「こども定期演奏会」や「アジア・プロジェクト」等の多角的な活動も注目されている。新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。ウィーン楽友協会をはじめ海外公演も数多く行う。ITへの取り組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として高く評価されており、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」では2022年に《サロメ》が第2位、23年には《エレクトラ》が第1位に選出された。